

広報

しろいし

編集と発行
白石市役所
企画審議室

白石市桜小路35
TEL (代) 5-2111
発行定日 毎月1日
(売価1部2円)

新年度予算が決る

総予算十四億五千百万円

一般会計は八億二千百万円

第百三回白石市議会は、二月二十七日に開会し、会期は九日間、三月七日に閉会しました。

今回の定例市議会に提出された議案は二十九件で、全議案が原案どおり可決されました。

そのおもな審議内容は次のとおりです。

▽審議された請願五件のうち、次の二件が採択され、残り三件は継続して審議されることになりました。

○長町区民会館・消防詰所・消防ポンプ置場建設助成金交付に関する請願(長町行政区長渡辺半蔵氏)

○仙南たばこ耕作組合事務所白石設置助成金交付方請願(たばこ耕作連合会会長制野福江氏)

▽任期満了になった固定資産評価審査委員会半沢猛委員が再選任されました。

▽白石市字北町裏に建設した保育園は「白石市西保育園」と決まり、市立保育園は四つになりました。

▽小原小学校の四分校のうち、

東山、西、小久保平の三分校は本年四月一日から小原小学校へ統合し、廃止いたします。

▽昭和四十四年度白石市一般会計補正予算では、昨年暮れに行なわれた衆議院議員選挙関係経費や一月の低気圧により被害をうけた学校施設、その他の公共施設の修繕費、刈田病院の負担金、事務計機の購入費、市議会議員補欠選挙費、畜産商工振興費など四千一百一十千円を追加補正し総額十億七千九百九十五千円、

▽昭和四十四年度の各種特別会計補正予算のうち、国民健康保険特別会計補正予算で、医療費改定によって医療費支出が増加し六百万二千円の追加補正など。

▽昭和四十五年度白石市一般会計予算は、前年度当初予算に比し二千四百八十一万四千円増の八億二千百万六千六百元(三・一%増)となりました。この予算による支出の主なものは

★民生関係
身体障害者福祉費三百十九万円、老人福祉費九百二十五万二千円、児童福祉費二千九百八十八万五千円、生活保護費など合計一億六千四百四十一万三千円。

★保健衛生関係
伝染病予防、胃腸病検診市民健康診断などの経費二千五百六十七万七千円、ごみやし尿の処理関係費二千八百六十九万六千円など合計四千九百二十六万三千円。

★労働関係
失業対策事業関係費として一千五百七十二万円。

★農林水産業関係
農業委員会関係費二千二百九十万一千円、大網地区開拓パイロット事業負担金七百五十一万四千円、川原子用水土地改良区補助金五百六十五万円、小原小学校

百二十四万五千円、畜産振興の諸経費百十五万三千円、農村青少年機能集団活動費五十八万円、林業振興費百五十二万八千円、市行造林費三百七十五万七千円など合計六千万一千円。

★商工観光関係
中小企業振興資金融資制度貸付金七百万円、商工業振興関係補助金など四百二十四万円、観光費九百二十四万円、合計二千八百六十六万一千円。

★土木関係
市道の維持費関係五百九十六万八千円、市道の改良工事費など九百五十五万五千円、橋の維持改良費百七十八万円、都市計画事業による街路整備費七百二十万三千円、益岡公園整備費三百三十三万三千円など合計五千二百二十八万八千円。

★消防関係
常備消防費二千七百九十九万三千円、非常備消防(各地区の消防団関係)八百五十九万四千円、可搬式動力ポンプ、ホースなどの購入費や貯水槽設置など二百六十九万円、その他合計三千九百六十七万三千円。

★教育関係
斎川小学校、越河小学校の簡易プール建設費六百四十四万円、小学校教材費五百六十五万円、小原小学校

分校廃止による通学、その他の補助金百三万二千二百四十円、小原中学校水泳プール建設費一千万円、社会教育関係費一千二百二十九万二千円、留守家庭児童対策費百四十四万一千円など合計一億四千六百九十八万一千円。

★特別会計
八つの特別会計がありませんが、ことし新たに設けた▽宅地造成事業貸付資金特別会計は寿山地区の住宅団地造成のため、県住宅供給公社へ事業資金として貸付けるために設けたもので予算額は三億二千三百四十万円です。

以上の支出に対して、収入は市税の二億六千九百七十四万円、地方交付税三億九百六十三万九千円、国や県からの支出金一億二千九百三十二万九千円、その他の収入でまかなわれます。

その他、条例の一部改正などについて審議されました。

★総務費関係
三千五百三十万二千円

★議会関係
三百五十万二千円

各種人件費、文書広報費

各種人件費、文書広報費

各種人件費、文書広報費

各種人件費、文書広報費

各種人件費、文書広報費

各種人件費、文書広報費

各種人件費、文書広報費

各種人件費、文書広報費

各種人件費、文書広報費

各種人件費、文書広報費

各種人件費、文書広報費

各種人件費、文書広報費

各種人件費、文書広報費

各種人件費、文書広報費



ご協力ください 園場整備事業に

六月着手 十月竣工

かねてから関係者の皆さんから同意をえて園場整備事業の採択申請をおこなってまいりましたところ、この事業採択が決定になり昭和四十五年度から実施することになりました。

- 田子屋敷、上ノ神明裏、鹿ノ下、坪家沢、永坂、久保、上ノ神明前、沼田、小森、沼田前。
- (八宮)
- 中ノ川前、中ノ川前北、原、坂町前、館前一番、堂田、杉ノ下前、杉ノ下北、杉ノ下南、岩ノ倉前、岩ノ倉前、岩ノ倉前道下、中ノ川前道北、松木田、中ノ川前道北、清水田、飯半場、下館、四反田、大師、八幡前、地蔵田、鶴ヶ岡、楚利田、小前南、石田、道畔、青木下、深田、飯詰東、角田、町屋北、青木下南、青木下上川、敷下、深沢前、清水尻、下原、松木田北。
- (深谷)
- 三本木前、下館、地蔵堂、白北地区、(長袋)

この事業はこれまでの実施方法と違い本年度実施方針が打出され、これに基づいた採択となっております。すでに関係者の皆さんのお集りをいただき説明会を開き、いろいろその経過と実施方法などをご説明した通りでありますのでよろしくご協力ください。

なお実施いたします予定の字名をお知らせします。この字内に土地をお持ちの方は今年度の稲の植付を休んでくださるようお願いいたします。



きのうも、きょうも、身近かで悲惨な交通事故が発生してあります。ことしの「春の交通安全県民総ぐるみ運動」は四月六日から十五日まで、新入学期とあわせ、とくに学童の事故防止を呼びかけておられます。

- 1 常に家族みんなで交通安全、この運動のことを話し合う(家族会議)
- 2 家族が家を出るときは、歩行、安全運動励行の「愛の一声」をかける。
- 3 幼児や老人のひとり歩きはさせない。
- 4 車で出かける行楽は、よゆうのある計画で、5車できた人には、酒を出さない、飲んだら運転させない。
- ★カッとする、心の動きが事故のもと
- ★無理するな、速くに見えなくても、車は速い
- ★いつもなれたとおりでも、ただしくあるだけ、ただしくおうだん

五年間保険料を掛けると老令年金がもらえます。これが五年年金制度で、明治三十九年四月二日から

昭和三十九年度 納税感謝祭

三月十八日、白石市民会館で昭和三十九年度の納税感謝祭を行いました。

市行政を進める力は、その中心は何んといつても税の収入であります。つねに、皆さんには大変ご協力をえ、昭和三十九年度全市納税率は九十八%で、一億三千五百二十万三千二百十円。

未納額の二%は二百八十二万四千七百円でした。このような好成绩は、税に対するみなさんの認識の

深さによるものであり、各納税組合の役員の人々のご苦勞も並大抵ではなかったと思えます。納税感謝祭を開き、市長

国民年金

老後は五年年金で

明治四十四年四月一日まで間に生まれた人で、つまり現在、五十八才から六十三才までの人で、昭和三十三年四月までに国民年金に加入しなかった人が再び加入できることになり、加入申込みは六月三十日まで、その後は加入できません。これが最後のチャンスです。これから一日も早く加入されるようおすすすめします。

!!さようなら!!

小原小の三分校

四月一日から統合廃止になる小原小学校の三分校の沿革史を紹介し、長い間、地区の人々の教育の場であり心のよりどころであったなつかしい三分校に別れを言います。

- ◎ 東山分校
明治二十四年四月一日 東山二十七番地に校舎を新築し移転。
昭和二年四月一日 伊勢原道上に移転、東山校舎仮
- ◎ 西分校
明治六年 下戸沢分教場として創立。
明治二十四年 大熊分教場と統合、赤井畑分教場となる。明治二十六年分離し、旧分教場に復す。
- ◎ 小久保分教場
昭和三十九年九月 二分教場を統合、西分校生る。
昭和四十年四月 関谷道上に校舎新築移転。
- ◎ 寺小屋分教場
明治二十年 上西基蔵宅で寺小屋教授開始。
明治四十年 通年の出張教授所開設。
大正五年 上西光三郎宅で出張教授。十三年に小久保平教授所新築。
昭和十五年 小久保分教場となる。翌年分校と改称。三十二年 二学級編成。
昭和三十五年八月 小久保平四十番地に新校舎完成

ちえおくれの子

(精神薄弱児)の指導

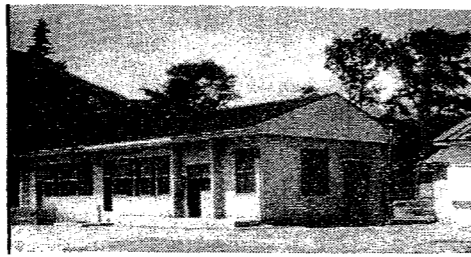
〇ちえおくれの子とは、「いろいろな原因によって、精神の発育が遅れとどまり、そのために知的な能力が普通の子より劣り、自分自身の身のまわりのことを処理したり、社会生活への適応がむずかしい子」であると教育の立場ではいっております。

〇では特殊学級で、どんなことをやらせて教育をしていくかといふと、「社会的自立」つまり、自分の力で食べていける人間を育てることにあります。

〇特別学級で教育を受ける子どもたちは必ずしも、今までのとちがちがたがた、個人差はありますが、一般的にいえることは、1 劣等感がほぐれ、自信をもつようになり、2 おどおどしていた気持ちが安定し、おちつきをみせます。

〇市民のみならず、この子どもたちと、その家庭の人々をあたたく見守り、はげましのことをかけてくださるようお願いいたします。

〇市民のみならず、この子どもたちと、その家庭の人々をあたたく見守り、はげましのことをかけてくださるようお願いいたします。



小原小 西分校

東山分校

小久保分分校

〇ただひと口にちえおくれの子といつても、その遅れの程度はいろいろで、重度中度、軽度の三つに大きく

〇では特殊学級で、どんなことをやらせて教育をしていくかといふと、「社会的自立」つまり、自分の力で食べていける人間を育てることにあります。

〇市民のみならず、この子どもたちと、その家庭の人々をあたたく見守り、はげましのことをかけてくださるようお願いいたします。

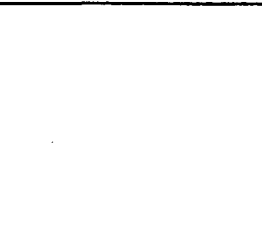
〇市民のみならず、この子どもたちと、その家庭の人々をあたたく見守り、はげましのことをかけてくださるようお願いいたします。

〇市民のみならず、この子どもたちと、その家庭の人々をあたたく見守り、はげましのことをかけてくださるようお願いいたします。

3 友達も少なく、お話をしなかつた子が見ええるようになり、人間関係が深まります。

4 自分の身のまわりのこと

4 自分の身のまわりのこと



祝祭日には 国旗を掲げ しましょう

郷土の文化財

埋蔵文化財保存倉庫

「白石には何時頃からとこに最初の人が住み始めたか？」

この疑問を解くため、福岡深谷字高野の佐藤庄吉翁(八十三才)は白石周辺の考古遺跡を調査し、五百二十五か所以上の場所から石器や土器片を採集し、これを東北大学教授伊東信雄博士に依頼して時代区分を行ない、遺跡地名表と遺跡分布図を完成した。

この数千点の考古学資料の保管を依頼されている翁

は、昭和三十五年六月に自宅内に二十三平方メートルのブロッケン平屋根の保存倉庫一棟を自費で建設し、内部にはおよそ七千年前の縄文時代早期土器から弥生式、土師式土器、祝部式土器、布目互、鍛冶遺物などを時代順に地点別に三列五段ならべに陳列してあります。

これを考古学研究者や社会科研究の学生生徒一般に無料で解放、研究にまかせ

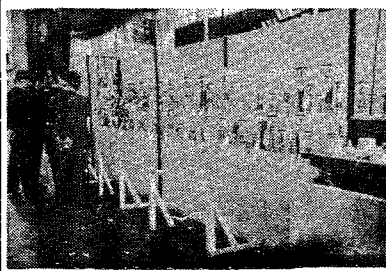
埋蔵文化財保存倉庫」写真Ⅱがこれである。

文部省が文化財保護法十周年記念式に佐藤翁を表彰したのも、全国でも珍らしいこの功労を賞したのであります。

郷土の社会科学習とハイキングをかねて見学する人も多い。

第十二回全日本こけしコンクール

五月一日～五日まで



第十二回全日本こけしコンクールは、今年も白石市民会館を会場に五月一日(金)から五日(火)まで五日間、開きます。

これは全国のこけしの作品を広く紹介宣伝し、認識を深めてもらうことと共に販路の開拓、民芸品としてすぐれた品質意匠と技術の向上をはかり、こけし産業の振興発展を願って開かれます。



第一部 伝統こけし (旧型)

第二部 新型こけし

第三部 創作こけし

第四部 木地玩具および木製こけし応用品

会期中、新旧こけし工人による、こけしのれん(白石和紙)並びに色紙描彩実演(即売)や各種こけしの即売をいたします。

授賞式は五月三日午後一時から会場でおこないます。なお、このコンクールの

『白石市史』 近く発刊

昨年四月から編さんを進めてきました白石市史(全五巻)は、五年計画で毎年一巻ずつ発刊することになり、本年中に第一回配本を始めることになりました。

市民の皆さんによく読まれ、愛蔵され、しかも学問的な市史をつくりたいという願いをこめて、編さん委員の人々が、長年の研究を筆先にごめて、心血をそそいで書きあげたものです。

市史は、今までに一度も発刊されていませんし、今後も、おそらくは発刊されることはあるまいと思われ

その内容は、リーフレットにして、回覧板を通して市民の皆さんにお目にかけることにしておりますが、よくご覧いただき、予約申込みをしてくださるよう、おす、めいたします。

▼白石市史(全五巻) 全巻予約制

▼限定版 A5判(教科書版)千部印刷

▼予約受付 今から受付けします。予定数に達し次第打切ることありますから、早目にどうぞ。

○旧白石町、遠方の人は白石市亶理町、白石市図書館内「白石市史編さん室」あて

○前記以外の人は、市役所各出張所(分室)あて

▼体裁 表紙布製、金箔押し、美製罫入、豪華特製本、各巻とも約七百ページ

▼頒布価格 第一回配本(十月発行予定) 資料篇(上)約七百五十、二千二百円。第二回以後も約二千円の見込み(第二巻から物価の変動で多少かわることもあります)

▼編さん委員 (順不同) 菅野新一、関谷宗一、飯沼寅治、片倉信光、風間親静、巨理梧郎、阿子島雄一

白石市長選挙

投票日は 4月24日

出品作品を広く一般に公開するため東京と仙台で展示いたします。

東京大会は五月十五日から二十日まで新宿の小田急デパートで開催。

仙台展は丸光デパートで六月十日から十五日まで開きます。

日曜当番医

月日	内科	外科
4月5日	楠崎	宮城
12日	亶理	加藤(大)
19日	大沼	朝倉
26日	芭	銭谷
29日	水野	宮城
5月3日	加藤(和)	加藤(大)
5日	加藤(司)	朝倉
10日	引地	銭谷
17日	楠崎	宮城
24日	亶理	加藤(大)
31日	大沼	朝倉

ごみは指定の日に ごみ車の日程

搬出曜日 地域

月・火 本郷第1、第3、第4、上郡山、亶理町、中町、山ノ下、天津沢、上河原、中河原、下河原、兎捨川、柳町、向田、本町、新町、

火・金 東益岡、西益岡、滝下、長町、短ヶ町、寿町、寿山、本郷第2、

水・土 南町、大平、中益岡、清水小路、田町、

燃えないごみは ごみ収集全地域(小原、越河、斎川を含む)とも水曜日の午後に出してください。